

でお話を上げていただきたいと思いますと思うんですけども、教育長、どうでしょうか。

○鈴木富美子議長 土屋正人教育長。

○土屋正人教育長 議会でもそうですし、一保護者でもありますから、当然、こういう声はいつも届けておりますので、今までどおり届けていきたいと思っております。

なお、ポロシャツですけども、実は、運動着登校が多いんですよ。ほとんどポロシャツ必要なくて、運動着になった、その後ワイシャツになった、すぐ制服着るもので、あまり必要感がないということでも学校ではありますけども、でもやっぱり柔軟性が一番大事なので、ポロシャツがどうのこうのというよりも、やっぱり子供の実態とか、それから気持ちに沿って柔軟にしていくというのが両学校の考えであります。

○鈴木富美子議長 10番、渡部秀樹議員。

○10番 渡部秀樹議員 そのとおりだと思います。私がこう上げたのは、何もポロシャツを着てくださいというわけじゃないんですよ。話し合うことができる、組織内でお話のネタにしてほしい、子供たちに寄り添ってほしいという、何かにつけ関心を持ってほしいというところがありますので、様々などころでお話合いをしていただきたいなど。現状を保護者にも報告していただきたいし、子供たちにも何かの朝会の際にこういう話を教育委員会でしてるんだというのを校長や教頭から伝えていただければ、みんな子供たちのこと見てんだな、寄り添ってんだなって伝わると思うので、ここはお願いしたいなと思います。併せて教育長からお願いします。

○鈴木富美子議長 土屋正人教育長。

○土屋正人教育長 繰り返しになります。今までそうしておりましたので、これからもそうしていきたいと思っております。

○鈴木富美子議長 10番、渡部秀樹議員。

○10番 渡部秀樹議員 そうしていただきたい

と思います。

土屋教育長は、当たり前ですばらしく教育熱心な方で、教育理念を持っているので、当然にそういう答えが返ってくると思っております。

しかし、ここを離れた外には、各校長がいて、各教頭がいて、各先生たちがいて、その人たちが子供たちを支えていますので、これは徹底して伝えていただきたいと。

最後お願いなんですけども、スクールバスやその他の支援に関してもこれまでどおり、できる範囲内で構いませんので、協議して答えを導き出してほしいと思います。これに答えを求めません。協議してください。よろしく申し上げます。私の質問は以上です。

○鈴木富美子議長 ここで暫時休憩いたします。再開は午後3時20分といたします。

午後 2時59分 休憩

午後 3時20分 再開

○鈴木富美子議長 休憩前に復し、会議を再開いたします。

市政一般に関する質問を続行いたします。

金子豊美議員の質問

○鈴木富美子議長 次に、順位5番、議席番号12番、金子豊美議員。

(12番金子豊美議員登壇)

○12番 金子豊美議員 本日5番目の質問となります。

初めに、今日12月6日は、元禄13年12月6日、徳川光圀が食道がんで死没した日でもあり、俳優の鶴田浩二さん、星由里子さん、前首相の菅

義偉氏、歌舞伎役者の第十三代市川團十郎さん、落語家の林家たい平師匠、プロ野球巨人の長野久義選手など、多くの有名人が生まれた日でもあります。徳川光圀は、皆さんも御存じのように、時代劇ドラマ「水戸黄門」の黄門様のモデルになった人物で、日本で初めてラーメンを食べた日本人とされるほか、水道工事や「大日本史」など編さん事業でも活躍した人物とされており、ドラマでは、助さん、格さんはじめ、供の者を連れて全国を漫遊、悪人を退治し、それぞれの藩、町、村等に平和を取り戻す場面が演じられております。

現在、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルとハマスの戦争状態はじめ、世界各地で内戦や宗教対立が起こっています。また、某国の強引な海洋進出、北朝鮮問題など、一触即発の危険も感じられます。地球温暖化による干ばつや水害、山火事など、大きな災害も全世界で起きており、武力闘争や環境問題など国際社会は危機感積もる日々を迎えております。国際平和の象徴である国連機能も発揮できず、発展途上国、新興国、そして先進国においても、今後、人々が安全で安心して暮らせる世界が来るのか、不安を感じている人が大勢いると思います。ドラマの世界とは異なり、平和な世界を取り戻すため、大国に負けない強いリーダーシップを発揮できる人材が現れ、国連機能を取り戻し、侵略や戦争をやめさせ、人々が安心して暮らせる日々が来ることを、令和の水戸黄門が世界に平和をもたらす日が来ることを期待しております。

話は替わりますが、明日7日は二十四節気の一つ、大雪です。ブリなどの冬の魚の漁が盛んになり、熊が冬眠に入り、ナンテンの実が赤く色づく頃とされております。大雪から冬至へと季節が移っていきます。今月22日の冬至までは、まだ日照時間が短くなります。

9月5日、長井市で交通死亡事故が発生しましたが、以後、再スタートを切り、交通死亡事

故ゼロが92日目を迎えました。外出の際の反射材着用、しっかり止まってはつきり確認の徹底、早めのライト点灯とハイビームの積極的活用、家庭での声がけなど、市民一人一人の意識の高揚により、交通事故が発生しない年末年始になるよう祈念しながら、質問をいたします。

質問項目は3つ、質問事項は5つです。最初に、長井市制施行70周年記念事業について質問をいたします。

平成6年度は、市制施行70周年を迎えます。昭和29年11月、町村合併促進法により、長井町、長井村、西根村、平野村、豊田村及び伊佐沢村の1町5か村が合併し、長井市が誕生しました。これまで節目ごとに様々な記念事業が実施されてきました。

10年前を振り返ってみますと、長井市制施行60周年記念事業推進協議会を組織し、事業を実施しております。1つは、市民パレード関係事業として、8月8日の金曜日に駅前から旧市役所向かい側の駐車場まで「え・が・お」をテーマとして、雨天の中、304人の園児や小学生を中心に、雨がっぱを着用してのパレードを実施。引き続き、長井小学校体育館を会場に吹奏楽とけん玉の夕べを開催、小学生、中学生、高校生の演奏とけん玉パフォーマンスを実施しております。

2つ目として、同じく8日の夜、黒獅子「夏の陣」として、中央十字路はじめ、3か所からスタートし、旧市役所向かい側駐車場に設置したお宮入りまで市内5社による黒獅子舞が披露されました。

また、3つ目として、翌日9日の土曜日に音楽関係事業としてスペシャルサマーライブを最上川河川緑地公園内特設ステージ芝生広場内において開催。小雨の中、熱の籠もった演奏に熱心に聞き入る市民の姿があったとのこと。

そして、4つ目、10日の日曜日には大相撲長井黒獅子場所事業が大相撲長井黒獅子場所実行

委員会を実施主体に開催され、置賜生涯学習プラザ体育館を会場に、大勢の相撲ファンを中心に2,671人の入場者を迎え入れたとのことでした。

5つ目として、角野栄子さん記念事業が10月4日から11月9日まで実施され、「大きな大きな絵本の公園」がつつじ公園内で、また、4日には角野栄子さんの講演と「魔女の宅急便」映画鑑賞会が行われました。

そして、6つ目、メインの記念式典関係事業については、11月3日の文化の日に開催されています。市制施行60周年記念式典については、長井市民文化会館を会場に、入場者700人、人間国宝で名誉市民の宇治柴文先生の特別講演、コミュニティFM、おらんだラジオ開局セレモニー、表彰状、感謝状及び日本一認定証の贈呈、梅津碧さん、ピアノの齋藤友佳さんによる歌曲独唱が行われました。その後、記念祝賀会がタスビル2階コンベンションホールを会場に実施され、主催者挨拶、来賓祝辞、乾杯に引き続き、バートゼッキンゲン市のグール市長に記念品の贈呈、井上千春さんと長井若柳会の皆さんによる民謡と舞踊、菅野太郎吉さんによる民謡が披露され、当時、参加者数500人は、昭和62年にタスが開業して最高の人数での祝宴となったとのことでした。そのほかに、通常開催の事業や当時の地区公民館（現地区コミュニティセンター）事業等々についても長井市制施行60周年記念事業として広く市民に周知をして、60周年を祝った記憶が残っております。

このような経過を踏まえ、以下、質問をさせていただきます。

最初の質問ですが、現在、市制施行70周年記念事業としてどのような事業を考えているのか。また、前はバートゼッキンゲン市長を招待されましたが、姉妹都市関係者や本市の関係のある方々等の招待者について市長の考えをお伺いいたします。

2つ目の質問ですが、10年前は長井市制施行60周年記念事業推進協議会を設置して事業を進めてきております。今回も関係各団体はじめ、市民の協力と参加が必要だと考えます。また、市職員の仕事量が増加することも予想されます。早めに組織を立ち上げ、事業を企画し、市民への周知、協力と理解を得ながら事業を進めるべきと思いますが、市長の考えをお伺いいたします。

この項目、最後の質問です。事業を実施する上で財源の確保が必要ですが、新年度予算の編成時期でもありますので、必要な予算については、一般財源やふるさと納税の活用も含め、当初予算に計上し、進めることが大切だと考えますが、市長の見解をお伺いいたします。

次に、すみれ学園の職員について質問をいたします。

現在、すみれ学園及びテレワーク施設の建設が進められています。この施設は、就学前の心身に障がいのある幼児がそれぞれの障がいに応ずる個別的、集団的な指導と訓練を通じて自立に必要な身辺処理の知識と機能の早期的向上を図り、将来、健全な社会生活を営むことができるよう、通所により適切な児童発達支援の提供を行う。また、テレワーク施設と合築することにより、障がい児を持つ親の就労の場としての環境を整備するとともに、すぐ近くで子供を見守ることができる場の提供、そして、コミュニティスペースとして多種多様な方が気軽に交流でき、集いの場としても利用可能な環境の提供を行うことを目的に建設されるものです。

今は、清水町にある旧清水保育園の跡を活用して発達支援の提供を行っております。職員体制は、園長・管理者・児童発達支援管理責任者兼務で常勤1名、児童発達支援管理責任者が常勤1名、すみれ学園指導員として保育士の資格を有するパートの方1名、常勤の保育士2名、パートの保育士が1名、すみれ学園指導員とし

てパートの方1名、すみれ学園指導員として保育士の資格を有する方1名となっており、合わせますと、常勤4名、パート4名、計8名体制で対応しているとのこと。年齢については、40代が1名、50代が1名、60歳以上が6名となっております。現在の職員は、これまで福祉、障がい者施設等の職場で経験してきた実績を生かしながら、それぞれ活躍されております。前段で申し上げましたように、すみれ学園は、個別的、集団的な指導と訓練を通じて自立に必要な身辺処理の知識と機能の早期的向上を図り、将来、健全な社会生活を営むことができるよう、通所により適切な児童発達支援の提供を行う施設となっております。職員は現在、市の会計年度任用職員として採用されておりますが、後継者の育成等を考えると、職員の待遇について不安を感じる方もいると思います。職場での経験が豊かになった頃、転職という方も出てくることも心配されます。今後の職員体制と待遇改善についてどのように考えているのか、市長の見解をお伺いいたします。

最後になりますが、社会福祉協議会との連携と保健センターの今後についてお伺いします。

保健センターは現在、健康診断や相談事業、諸会議等に利用されております。また、センターに隣接する北側の道路については、消雪工事が進められております。一方、社会福祉協議会のある老人福祉センターは、国道287号に接しているものの、入り口や駐車場が狭く、利用者に不便をかけているのが現状であります。また、学童保育の送迎に利用されている南側の入り口も、朝夕のラッシュ時間帯を含め、出入りが大変だとのお聞きしております。両出入口については、車両の運行だけでなく、自転車や歩行者にとっても交通事故が心配されます。

今回オープンした「くるんと」については、施設関係者からお聞きしますと、利用者の声として、駐車場から施設まで近く、道路を横断し

なくていいので、家族連れはもちろん、高齢者についても安全で安心して気軽に利用できるとのことでした。老人福祉センターに国道を横断してセンターに行くのは、高齢者にとっては大変なことだと思います。老朽化が進む老人福祉センターの今後については、社会福祉協議会が主体となり検討すべきことではありますが、例えば老人福祉センターを保健センターに移動し、その跡地をタスの駐車場として利用することも考えられると思います。そうすれば、国道を横断せずに、家族連れや高齢者の方々もタスを利用しやすくなるのではないかと考えます。

このたび社会福祉協議会会長に齋藤副市長が就任され、社会福祉協議会と市当局、特に厚生部門の連携については、情報の共有、事業の実施等についてこれまで以上にスムーズな対応ができることと大いに期待しております。社会福祉協議会と市当局との連携、保健センターの今後の活用について、市長の考えをお伺いいたします。以上で、壇上からの質問を終わります。

○鈴木富美子議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 金子豊美議員には、大きく3項目にわたりまして5点ほどのご提言、ご質問いただいておりますので、順次お答えを申し上げます。

まず、最初の長井市制施行70周年記念事業についてでございます。

議員のほうからは、9年前、約10年前の市制60周年の際の事業等々についていろいろ取り上げていただいて、ご紹介いただきました。大変ありがとうございます。ちょうど市制60周年のときは平成26年で、財政再建からいよいよ、今まで遅れてきた様々な事業をほかのまちに負けないように充実させていこう、あわせて、ソフト事業はもちろんですが、ハード事業も平成28年から10年間の公共施設等整備計画をつくって、スタートすると、そういう節目の年だったものですから、しかも、60年ということで、還暦と

ということですね。かなり力を入れて行ったと記憶しております。

今回については、まず1つは、後ほど、3点目の社会福祉協議会との連携、保健センターのことにも話出ますが、なかなか、公共施設等整備計画に基づいて様々な事業を行ってきたんですが、ちょうど切りで、次の第二弾の整備事業を市制施行70周年の次の年あたりからスタートする、そんな節目だと思っております。そういった意味から、60周年に負けないぐらい市民の皆様と一緒に喜び合うとともに、これからさらにステップアップする、そんなきっかけにしていきたいと思っております。

市制60周年に当たる平成26年には、金子議員からありましたとおり、長井駅前から市民駐車場までの市民パレードをはじめとしたイベント、名誉市民宇治柴文先生による記念講演、記念式典、祝賀会などを行いました。式典には、今年、姉妹都市盟約締結の40周年を迎えた結城市、またドイツのバートゼッキンゲン市、それから、災害時の応援協定を締結している飯山市や奥州市など、関係市の方々に多数ご出席いただきました。長井市は、この10年間で本町の街路事業の整備、今年度で終わりでございます。それから、長井駅、市庁舎、「くるんと」の建設など、当時から見ると、街並みは大きく変わりました。市民の皆様が笑顔になり、まちににぎわいをもたらすことができるような事業をぜひ検討してまいりたいと考えております。

そして、記念式典には、前回同様に、姉妹都市の結城市、バートゼッキンゲン市のほか、関係の方々をご招待したいと考えております。今年、バートゼッキンゲン市のほうから先に招かれたわけですが、その際に、ドイツのバートゼッキンゲン市が、長井市外、4つのヨーロッパに姉妹都市があるわけございまして、その姉妹都市といろいろ交流しました。その中で、もし、来年、バートゼッキンゲンを長井市にお招

きしますけれども、結局、バートゼッキンゲン市の友達の皆さんと我々、友達の友達は友達だということで、ぜひ、もしよろしかったらお越しいただきたいということで、フランス、イタリア、スイス、オーストリアのバートゼッキンゲンの姉妹都市に声かけましたところ、オーストリアの姉妹都市である、ブルカースドルフの市長さんはちょっと残念ながら当時来られなかったようなんですが、それ以外の市長さんはぜひ行きたいと言っていたございまして、その辺などもこれからどうするか検討しなきゃいけないと思っておりますし、また、今回、11月の下旬に、外務省の外郭団体であるJICAのほうのお招きで、タンザニアのほうに行っていました。そこでドドマという首都の市長さんともお会いすることができまして、これからちょっとお互い交流について検討し合いましょうというようなこともございましたので、そういったところをご招待するかどうか。

あとは、9月にドイツのバートゼッキンゲン市にお邪魔した際に、リヒテンシュタインのほうに行っていました、リヒテンシュタインのラインベルガーという大変偉大な作曲家がいらっしゃったわけですけども、そのラインベルガーを歌う会というのを長井市でも、教育長もそのメンバーの一人ですが、そういったことで交流を深めたいという、特にインクルーシブを基軸とした音楽ですね、そういった取組も進めていこうという中で、そういった動きもありますので、リヒテンシュタインのほうにももしかしたら声をかける必要があるのかなということ、いろいろ検討しなきゃいけないと思っております。

なお、過日、市役所の中の庁議ということで、メンバーは全部で十数名いるんですが、ちょっと意見を出し合って、財源的なところの課題は残りますけれども、10年前に負けないぐらいの中身の濃い記念事業を行うことによって、市民

の皆様と一緒にこういう人口減少で厳しい状況を切り抜けていけるように、打ちかつことができるような、そんな事業をやっていきたい。その際には、例えば従来やっていた長井おどりと黒獅子まつりとか、会場を、例えば長井おどりの場合は旧庁舎から駅前までだけだったんですね。それを周遊コースにしたらいんじゃないかとか、あるいは黒獅子などもつつじ公園がゴールになっておりますけども、それと合わせてもう少しルートも考えられないかとか、様々な考えがあるかと思ひますし、「くるんと」のオープンに合わせて、今年は町なかのにぎわいを創出するための事業、これはデジタル田園都市国家構想のソフト事業を活用して、商工振興課とか、これを中心に建設課、あるいは地域づくり推進課など連携しながら、いろいろなイベント、お祭りをやりましたけども、これらについては、来年含めて、今年含めて3か年できるということで、それらを周年事業に合わせて、より充実させるとか、いろいろなことが考えられると思ひますので、いろいろな取組をしてまいりたいと思ひます。

議員のほうから、最初の項目の2点目で、10年前は組織として市制施行60周年の記念事業推進協議会を設置して事業を進めてきたが、今回はどうする考えなのか。やるとしたら、やっぱり早期に組織を立ち上げて事業を企画して、市民の皆様の協力、周知を図っていかなくちゃいけないんじゃないかというようなご提言でございますが、おっしゃるとおりでございますが、記念事業を進めるに当たっては、市民の皆さんはもちろんのこと、長井商工会議所とか関係団体、関係機関のご理解とご協力は不可欠だと思ひしておりますので、前回同様、やっぱりそういった組織もつくっていかなくちゃいけないところですが、実際、今現在は、今年度はコロナのほうは落ち着いたとはいえ、様々な事業に今、本当に各課、懸命に取り組んでおりまして、本当に忙

しい状況ですので、今後、この組織をどういう形で進めていくか。年内中には方向性固めなきゃいけないと思ひますが、事前にそういった協議会などを立ち上げて、市民の皆様にもご協力いただいて、来年度に向けていろいろな事業の案なども出していただけるような、そんなことを考えていかなくちゃいけないと思ひているところです。

この項目の最後でございますが、必要な予算については当初予算に計上し、進めることが大切だと考えるがということですが、おっしゃるとおりでございますけれども、今日、午後からも、午前中もありましたように、実はここ二、三年は、ふるさと納税が非常に、担当も、あと地場産センターも、そして様々な部署も連携しながら頑張ってきたおかげで、非常に一般財源として増えたんですね、増えたといひますか、使える部分がたくさんあったと。ただ、来年度以降、来年度は今年の部分の駆け込みで昨年並みぐらいにはいきたいとは思ひてんですが、ただ、ビールがなくなったといひのはかなり大きいと思ひてまして、そういった中で、やっぱり財源についてはかなり苦労するのかなと思ひておりますので、先ほど申し上げましたように、従来行ってきた事業のもう一回、より改善を図って充実させる。あるいはデジ田の交付金の事業などについて、より充実させて、しかも、70周年にふさわしいような事業内容にするといひことなどを含めて検討してまいりたいと。去年は、どちらかといひと、夏と秋、11月3日ですね、その辺あたりを中心にやったんですが、今年度は5月、6月ぐらいから周年でやるような形でいくべきかなと思ひておりまして、そういった意味では、当初予算に全て盛り込むといひのは、当初予算をつくる時にもかなり苦労すると思ひてます。そんなことから、できるだけ当初予算で全て賄えるようにはしたいと思ひますが、場合によっては補正などもお認めいただければ

など思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

続きまして、2点目のすみれ学園の職員についてということで、議員からは、今後の職員体制と待遇改善についての考え方はどうだということでございます。

すみれ学園については、これは金子議員からも詳しくご紹介いただきましたけれども、これまで行ってきた児童発達支援に加えまして、今年度から放課後等デイサービス事業、相談支援事業、移動支援事業、保育所等訪問支援などの事業を開始しまして、利用者に必要な支援が届くように、また、すみれ学園と保育所等が共通の認識を持ち、支援を行えるような連携を図っているところでございます。そういった意味では、施設も新しく、しかも、国の非常に有利な制度を使って、思いがけずすることができました。これは若手の職員たちの努力の結果、国の補助事業で、まさか我々できると思ってなかったもので、大変喜んでるところですが、あわせて、いろんな事業もできるような、有資格者の確保ができました。そんなことから、事業を行えるということは、それだけ収入上がりますので、それで職員の待遇も改善していく、正職員を採用していくということが可能になったと思っております。

旧市庁舎跡地に現在整備している新園舎が完成した後は、長井市、西置賜地域で支援体制が十分とは言えない医療的ケア児の受入れも進めていく予定をしております。これらの事業を充実させ、一人一人に寄り添った支援を進めるには、職員の質の向上は大切なことであると認識しております。現在の職員体制は、議員のおっしゃるとおり、8名の体制となっておりますが、現在はほとんどの職員が障がい児または障がい者の支援に携わったことのある経験の豊富な方となっております。今年の3月までは一般職の職員であった保育士が園長として支援に当たっ

てまいりましたが、退職してからは、会計年度任用職員のみでの運営と現在なっております。令和6年度からは、継続的な支援体制の強化のために、新たに一般職の保育士と医療的ケア児への支援や他の利用者の健康観察等のための看護師の、正社員のですね、正職員の配置を見据え、職員の採用を現在進めているところでございます。

なお、児童発達支援の充実を図るため、職員には運営に必要な児童発達支援管理責任者の資格取得のための研修をはじめ、医療的ケアへの理解を深めるための研修などを受講させ、質の向上も図ってまいります。

また、すみれ学園の利用者は比較的重度の障がい等がある方が多くなっておりますので、現在の職員の配置は利用者一、二名に対し支援者1名と、手厚い支援体制を取っております。今後の利用者の状況を見ながら、職員の負担が大きくなるないように、職員数の見直しも適宜行ってまいりたいと考えています。

待遇については、令和4年に保育士の処遇改善を行った際に、同じ保育士の資格を有する方が多いすみれ学園支援員の給与改善を図った経過がございます。また、毎年の定期昇給や人事院勧告を反映させた給与表の改正などが行われており、現在の期末手当に加えて、令和6年度からは勤勉手当の支給が開始されるなど、年間の給与として捉えた場合に、比較的改善されていると考えておりますが、若い方に勤務先として選択していただける事業所として、また、経験豊かな方に長くお勤めいただけるようにするため、他の有資格者の会計年度任用職員とのバランスも見ながら、初任給の格付や支給上限の定め方などを検討してまいりたいと考えてるところです。

続きまして、3点目の社会福祉協議会との連携と保健センターの活用についてということで、金子議員からは、社会福祉協議会と市当局の連

携、保健センターの今後の活用についてということのご提言、あるいはご質問でございます。

今後、次期の10年間の公共施設等整備計画というのは令和8年から令和17年までになるかと思いますが、その中でやっていかなきゃいけない、まず大きな施設整備というのは、まず、かなり老朽化してしまった小・中学校の改築、もう大規模改修、小規模、中規模は行ってますので、改築がメインになると思います。それに加えて各コミュニティセンターの改築、そして、中央地区以外は児童センターがありますので、児童センターの改築、これらをもしかしたら、合築するのが一番いい形なんですけれども、このところがどうなるか。今、文部科学省のほうにも職員を派遣して、今後の施設整備、また、文部科学省の今後の義務教育等々の考え方についても十分見極めながら、考えてまいりたいと考えております。

実はそれ以外に必要なのが、置賜生涯学習プラザを中心としたスポーツ施設の充実です。置賜生涯学習プラザについては、総合運動公園についても、総合運動公園、10年たちましたので、今後どうしていくか。それから、長井マラソンなども国際マラソンにしてほしいというような要望なども上がっておりまして、非常にそういった意味では、スポーツ施設もなかなか充実を図らなければならない部分はたくさんございます。もともとの宿題であったスキー場のリフトとかコースをどうするかということ、それから、プールですね、各小・中学校のプールもほとんど授業では使われなくなっておりますので、集約した形で小学校、中学校、新たに造る必要があるのかなと思っておりますし、あと学習プラザの室内プールについては、もちろんこれは学習プラザ全体で考えなきゃいけないことですが、そのプールの問題もあります。あと、武道館も、以前、十数年前にちょっと一部手直しはしたんですが、冷暖房も入っておりませんし、ちょっ

とかなり劣悪な状況なのかなと思っておりまして、それ以外にもたくさんやんなきゃいけないことがある中で、やっぱり問題なのは、実は社会福祉協議会が入ってる老人福祉センターですね。こちらについては駐車場がもうほとんどない。入り口が狭くて、非常に混乱する。あと、いざ何か災害等があった場合、ちょっとごちゃごちゃして非常に危険性があると。また、学童クラブを今、南学童で使っておりますが、これらについては、いずれ小学校の改築のときに解決しなきゃいけない問題であります。今、致芳小学校で行ってるようなやり方を、改築の際、どうするか。

これはいろいろ見極めなきゃいけないと思っておりますが、そんなことで、あそこの老人福祉センターについては、議員おっしゃるとおり、かなり問題がある施設で、老朽化もしておりますので、現在、保健センター、かつて健康課とか地域包括支援センターとか入っておったところが、今出ましたけど、事務所としては使っていないんですが、医師会、歯科医師会も入っており、さらには、いろいろ健診等々、あと休日診療所でも使っておりますし、そういった意味では、保健センターもいずれ市役所の近くに建てなきゃいけないということなんです。そこも今後10年間の計画の中でどう表現していくか、非常に難しいなど。財源もどうするか。

もう考えただけで気が重くなるぐらい難しい問題なのかなと思ってますが、そんな中で、ちょっと少し丁寧に答えさせていただきますと、長井市社会福祉協議会は児童センターの指定管理のほか、福祉関係の事業を委託するなど、市と連携して事業を進めてまいりました。前会長が退任されると伺いまして、市と社協の協力関係をさらに強くするために、このたび、長井市の社協の会長には、議員からもありましたとおり、齋藤副市長に就任をお願いしたところです。県内13市の状況では、市長が会長を務めている

市が4つあるんですね。それから、副市長が会長に就いてる市が長井市を含めて3市、その他2市で副市長が副会長に就いてる状況となっております。市長、副市長が役員になってる例が最近多くなってるようでございます。齋藤副市長の会長就任後は、毎月1回の事務局会に副市長が出席されて、会長として全体的な運営はもちろん、児童センターや介護事業など各事業の進捗状況を確認してるほか、課題があれば、なるべく早いタイミングで打合せを行っているようでございます。担当者からは、以前とは比較にならないほどスピーディーな判断が可能になったとの声が上がっております。議員からありましたように、今後ともスムーズな事業の進捗になるように取り組んでまいります。

議員からあった老人福祉センターでございしますが、昭和54年の建築で、もう築44年が経過しております。耐用年数は50年ですが、老朽化が進み、近年はボイラー、自動ドア、屋根などの修繕を行っています。また、議員からありました駐車場や入り口が狭いことなどについては承知してるところですが、議員からありました、老人福祉センターを保健センターに移動し、その跡地をタスの駐車場にというご提案、ご提言ですが、保健センターは事務所機能を市役所に移転しておりますが、移転前と同様、総合診断、乳幼児健診などの事業を行っております、多い月は月27日使用してるという状況でございます。また、日曜、祝日の休日診療所などもあり、社会福祉協議会に限らず、他の機関に貸し出しできる状況にはなく、空いてる時間帯に予約をいただいて利用していただく貸し館事務の範囲内の連携にとどまるものと思われま。

保健センターは、平成2年度、平成3年の3月完成の建築で、医師会館、歯科医師会館、慈光園中央デイサービスとの合築の建物であり、休日診療所を併設しております。当面は現行での利用を継続と考えておりますが、老朽化が進

んでおりますので、今後の活用方法については、医師会などと調整を図りながら検討を進めてまいります。

また、老人福祉センターやタスの駐車場につきましても、併せて関係機関との調整、検討が今後必要と考えておりますが、金子議員おっしゃるように、これもそんなに今のままの状況で放置しておけないと考えておまして、なかなか頭が痛い問題ですが、ぜひ議会のほうからもいろいろご助言いただきながら進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

○鈴木富美子議長 12番、金子豊美議員。

○12番 金子豊美議員 最初に、老人福祉センター関係、社会福祉協議会ですか、の関係のお話ですけども、市長から答弁あったように、なかなか大変だというのは分かります。ですが、数日前も市長と同じ会議で保健センター行ったんですが、まず、階段が急で、高齢者にとっては登るのは大変だなという、脇さいた高齢者の方がそういう話もあったりして、実際はかなり改良しなければならないし、その辺はちょっと無理かなという頭もありました。ただ、そういった面も含めて、社会福祉協議会が主体でそういったことを進めなんねわけですが、当局からもいろんなアドバイスを受けながら、やっぱり時間かけて進めていかないと、なかなか進まない。そういった中で、副市長が会長になられたということはすごくいいことだなと思っておりますので、ぜひその辺は副市長の手腕に期待してまいりますので、よろしくご検討いただきたいと思っております。

それから、2つ目のすみれ学園、今まで様々な方が質問してまいりましたけども、今回、たまたまというわけではないと思っておりますが、神が長井市を味方したというか、いいメニューがありまして、あそこに移ると。運営方法等、様々検討していかなければならない。そういった中で、新しい人を採用して、資格も取っていただ

いて、長く経験を積ませる、そういうやり方は
どんどん進めていっていただきたいと思っ
てます。待遇改善についても、現在できる方法を
検討していただいているようですので、その
辺もぜひ進めていただきたい。休暇という
かね、職員も休暇取って、十分休養しなが
ら勤められるような、そういう環境整備
にも努めていただきたいということをお願
いしたいと思います。

最後になりますが、70周年、これは昭和29
年ですから、昭和29年に生まれた方が、今
年というか、来年70歳になるという年だ
と思いますけれども、長井市と共に歩んで
られる方もおられますので、ぜひ盛大な
、お金のなるべくかからない盛大なイベ
ントにしていきたい。それには市民の協
力が一番必要だと思いますので、ぜひ早
めに周知をしていただいて、そして、例
えばですが、ふるさと納税、いろいろこ
れからまた周知していくと思うんです
が、その中に長井市制が施行70周年と
いうことも加えながらPRしていけば、
ふるさと長井会やほかの地域からも様
々な納税があるかと思いますが、そう
いった方法については、市長、どうお
考えでしょうか。

○鈴木富美子議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 おっしゃるとおり、ふる
さと長井会をはじめ、ふるさと納税を
より一層したくなるような、そんなま
ちづくりを進めていきたいと思いま
すが、返礼品の中に70周年をうた
った何かを作るということも大切な
のかなと思っております。

また、来年、2024年なので、この
間の庁議のときも話したんですが、
意識しなきゃいけないのは2025
年の国勢調査だと。ですから、国勢
調査の中で、長井市が子育てとか
教育にとにかく力を入れて、本当
に住みやすい、子供、小さいお
子さんがあるご家庭は長井市に
ぜひ住みたいと思ってもらえる
ような、そういった併せた宅造
も含めて、話題づくりをやって
いく必要が

あるんじゃないかと思っ
てますので、ふるさと納税も
そういったところを大いに
意識しながら、返礼品の
開発等々も頑張ってい
きたいと思っ
ます。ぜひいろいろとご
助言いただければと思
います。ありがとうございます。

○鈴木富美子議長 12番、金子豊美議員。

○12番 金子豊美議員 ぜひそのよう
にしていきたいと思
います。

あと、予算の関係ですが、最初
にある程度の予算分かる
部分あると思っ
ますけれども、途中で
どうしても必要な
場合は補正で上
がってくるという
ことになると思
います。そういった
場合に、私たち
もいろいろ調査、
審議する時間
も欲しいも
んですから、
ぜひ早めに
補正のほう
も出して
いただいて、
いい方向
に行くよう
に今後とも
よろしく
お願いし
て、私の
質問を
終わ
ります。あ
りが
ござ
いま
した。

散 会

○鈴木富美子議長 本日は、これをも
って散会いた
します。

再開は、明日午前10時といた
します。ご協
力あ
り
が
ご
ざ
い
ま
し
た。

午後 4時09分 散会